

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	北陸コカ・コーラボトリング株式会社					
代表者名	氏名	井辻 秀剛	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	富山県高岡市内島3550					
主たる事業の分類	大分類	I 卸売・小売業				
	中分類	52 飲食料品卸売業				
主たる事業の概要	清涼飲料水の販売					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	3,036	2,730	2,936	2,756	2,725
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5,408	4,870	5,229	4,907	4,853
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	89		89	47	42
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	292				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

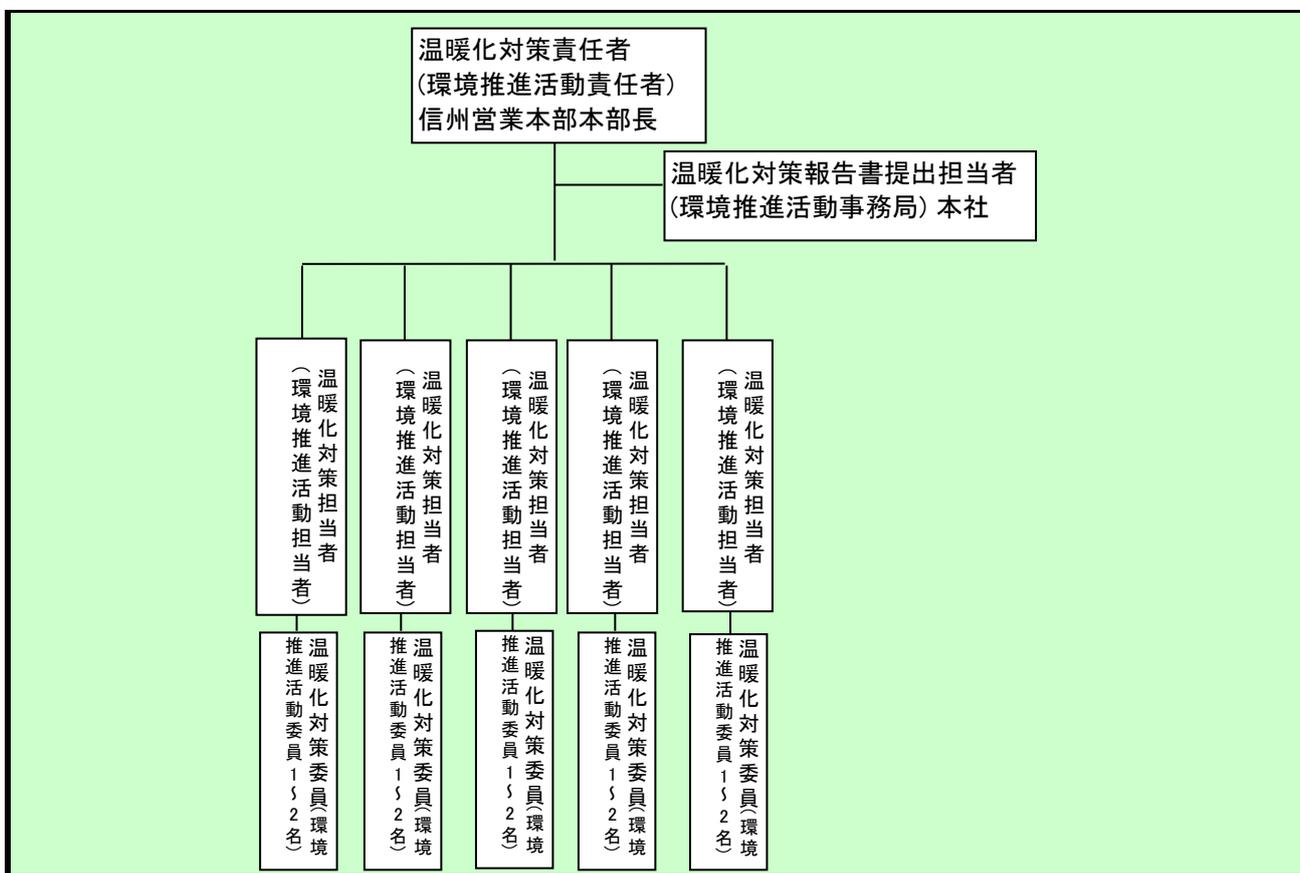
<input type="checkbox"/>	ホームページ	窓口で閲覧(土日祝日を除く 10:00～15:00) 問合せ 北陸コカ・コーラボトリング株式会社 経営サポート推進室 0766-31-1115
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

私たちは企業の活動が地域社会及び地球環境と深く関わっている事を認識し、企業と地域社会、消費者との相互信頼のもとに地域社会の環境保全を図りながら、自らも循環型社会の構築に向けて活力ある企業活動が展開出来るよう「良き企業市民」として行動します。
「私たちは、環境を大切にし活力ある地域社会に貢献します。」をスローガンに次の活動に取り組みます。

- ①北陸コカ・コーラボトリング(株)はコカ・コーラをはじめ清涼飲料製品の販売活動による環境に与える影響を認識し、資源の有効活用・節約・リサイクルを目的としたシステムの確立と継続的な改善を図ります。
- ②販売関連資材及び事務用品その他の購入において、環境保全性・資源保護・再生化に優れた資材・製品の購入に努めます。
- ③企業活動、製品またはサービスの提供において、省資源・省エネルギーや環境保全に優れた技術・方法の導入に努めることにより資源の有効利用と廃棄物の減少を図ります。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境対策会議を、全体会議（富山・石川・福井・長野）として年2回、各事業所においては月1回開催

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,408	t-CO ₂	販売箱数	774.13	単位	万箱数
2019年度	調整後排出量	5,408	t-CO ₂	基準原単位	6.99	t-CO ₂ /	万箱数
目標年度	目標排出量	4,870	t-CO ₂	目標原単位	6.29	t-CO ₂ /	万箱数
2022年度	目標削減率	9.94	%	目標削減率	10.00	%	
目標設定に関する説明	自動販売機の台数削減並びに省エネタイプへの切替により年平均3%（3カ年…約9%）、事業所における環境負荷低減活動（エアコンや照明等の節電アクション、事業所ごとのノー残業デーの設定などによる在勤時間の短縮等）で年平均1%（3カ年…約3%）を削減根拠とした。						
第一年度	排出量	5,229	t-CO ₂	販売箱数	617.05	単位	万箱数
	削減率	3.30	%	原単位	8.47	t-CO ₂ /	万箱数
2020年度	調整後排出量	5,229	t-CO ₂	原単位削減率	-21.18	%	
	削減率	3.30	%				
排出量等の増減理由	在宅勤務の促進やコロナ禍による営業活動の縮小及び休業もあり、エネルギー使用が減少。また、自動販売機においては、省エネタイプ機への入替がだいぶ進んでおり、今までのような大きな削減効果が見られなかった。						
第二年度	排出量	4,907	t-CO ₂	販売箱数	627.97	単位	万箱数
	削減率	9.26	%	原単位	7.81	t-CO ₂ /	万箱数
2021年度	調整後排出量	4,907	t-CO ₂	原単位削減率	-11.74	%	
	削減率	9.26	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の設置ロケーションを見直し、またCo2排出量の削減について設置先オーナーへご理解いただき、設置台数の集約(減少)を進めた。 ・在宅勤務、リモートワークを促進したことにより削減効果が見られた。 						
第三年度	排出量	4,853	t-CO ₂	販売箱数	646.91	単位	万箱数
	削減率	10.26	t-CO ₂	原単位	7.50	t-CO ₂ /	万箱数
2022年度	調整後排出量	4,853	t-CO ₂	原単位削減率	-7.30	%	
	削減率	10.26	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の総設置台数は対前年比で増加したが、高年式省エネ機の設置増により、排出量の減少につながった。 ・コロナ禍による販売数量の減少が大きく、原単位の上昇という結果となった。 						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	292	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	150302	自動販売機のスケジュール管理	2020～ 2022	500	2020～ 2022	300
2	エネ起	150303	電力削減	2020～ 2022		2020～ 2022	
3	エネ起	150201	照明器具及びランプの適正な選 択	2020～ 2022		2020～ 2022	
4	エネ起	150204	適正照度の管理	2020～ 2022		2020～ 2022	
5	エネ起	130101	設定温度、湿度の適正化	2020～ 2022		2020～ 2022	
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	9,016	5,408	9,072	5,229	8,818	4,907	8,934	4,853
合計	9,016	5,408	9,072	5,229	8,818	4,907	8,934	4,853

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	8	8	6	16
合計	8	8	6	16
自動車総数	89	89	47	42
次世代車導入割合	9	9	12.8	38.1

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車の利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	松本、更埴にロジスティクスセンターを置き、物流の合理化を推進

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

100%リサイクルPETボトル素材(サステナブル素材)を使用したPETボトル製品の提供
